

滋賀県が目指す2030年の姿に関するアンケート集計結果

調査時期:平成22年3月

対象者:県政モニター(195人)

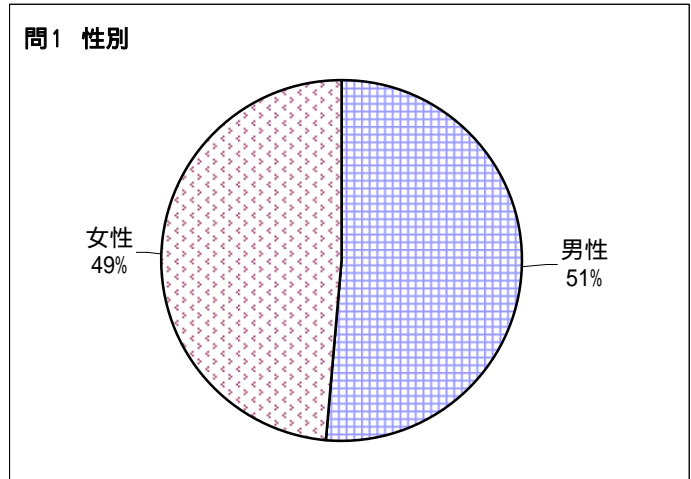
回答数:113人(回収率57.9%)

担当課:企画調整課

調査目的:「滋賀県基本構想」で描く2030年の姿の実現に向けた取組の参考とするため

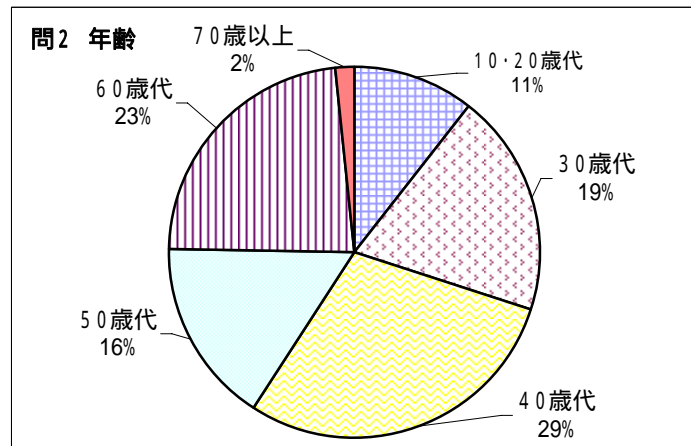
問1 あなたの性別を教えてください。

男性	58人
女性	55人
計	113人



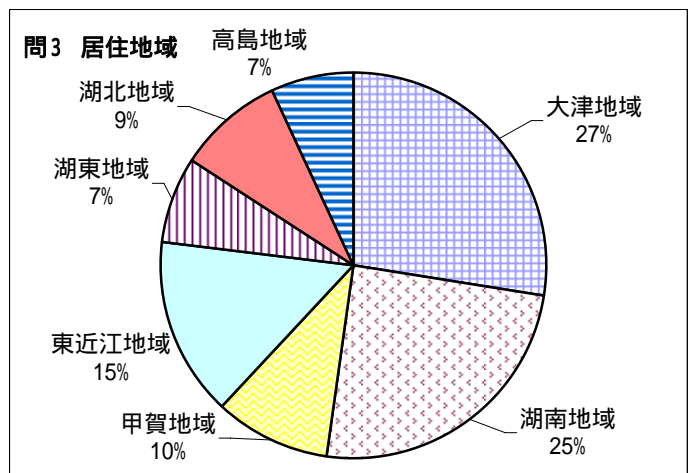
問2 あなたの年齢を教えてください。

10・20歳代	12人
30歳代	22人
40歳代	33人
50歳代	18人
60歳代	26人
70歳以上	2人
計	113人



問3 あなたのお住まいの地域を教えてください。

大津地域	31人
湖南地域	28人
甲賀地域	11人
東近江地域	17人
湖東地域	8人
湖北地域	10人
高島地域	8人
計	113人



問4 県民の皆さんが将来の姿の達成状況を確認するためには、どのような指標があればいいかについて、6つの分野ごとにおたずねします。

(1)あなたは、「健康」の視点から描いた将来の姿の実現度を見るために、どのような指標が必要だと思われるか。

施策の方向性	指標(主なもの)
健康づくりと介護予防の推進	医療・健診に係る費用負担額、医療費、通院日数・回数 健康診断受診率、がん検診受診率 児童・生徒の運動能力、スポーツ施設数、スポーツをする人の数 虫歯の発症率、生活習慣病の発症率 要介護率、元気な高齢者の人数 禁煙者数、家庭分煙の実施数 健康保険の非加入者の割合、平均寿命、自殺者数
医療・介護等提供体制の整備	がんの治癒率 医療従事者(医師・看護師)の人数 医療機関の待ち時間、医療機関・介護施設数
食の安全と地産地消の推進	学校給食の地産地消比率
その他	出生率、子どもの数、人口

(2)あなたは、「働く」視点から描いた将来の姿の実現度を見るために、どのような指標が必要だと思われるか。

施策の方向性	指標(主なもの)
働きがいのある雇用・労働環境の創出	保育所の数、企業内託児所数 育児休暇取得率、女性の就業率 失業率、正社員雇用比率、高齢者就職率 有効求人倍率、障害者雇用率 在宅勤務者、ワークシェア、労働時間 平均収入の向上、企業誘致数の増加、地域での雇用の場の拡大
ビジネス人材の育成支援	熟練者の指導の場の数、子ども連れで参加できる就職セミナーの数

(3)あなたは、「住む」視点から描いた将来の姿の実現度を見るために、どのような指標が必要だと思われるか。

施策の方向性	指標(主なもの)
安全で快適な生活環境の実現	歩行者および自転車用通行帯の整備割合、交通事故発生数 持ち家比率、バリアフリー化された公共交通・施設の数、下水道の普及率 市域内循環バス等の運行本数や利用稼働率、世帯あたり住宅面積
誰もがいきいき暮らせる福祉社会づくり	孤独死ゼロ、地域で安心して暮らしている障害を持つ人・弱者の数
災害に強く、安全で平穏な暮らしの基盤づくり	犯罪率、犯罪検挙率、自主防災組織の結成率
多様なつながりによる地域づくり	ボランティア活動者数、地域活動の参加率、サークル活動の数
その他	省エネ住宅の数、太陽光発電利用家庭数、県民1人あたり緑面積 一世帯あたり平均人数

(4)あなたは、「学ぶ・育てる」視点から描いた将来の姿の実現度を見るために、どのような指標が必要だと思われるか。

施策の方向性	指標(主なもの)
育ち、育てる環境づくり	出生率 地域ごとの育児の相談件数、子育て支援事業の実施数、 共働き家庭の比率、保育所稼働率、幼稚園設置数、保育施設設置数 保育士一人あたり子どもの数、待機児童数
人を育む学校、社会環境づくり	進学率、学力の国内順位、学生の出席率 不登校児数、いじめ発生件数 教育に対する満足度
地域における教育環境の整備	年代別図書館利用率、博物館の入館者数 地域と教育機関の連帯行事件数
個性ある地域文化の構築	伝統文化や芸術を学べる教育施設の設置数

(5)あなたは、「楽しむ」視点から描いた将来の姿の実現度を見るために、どのような指標が必要だと思われるか。

指標(主なもの)
余暇時間、在宅勤務率、 観光客数 映画館の件数、1人当たりスポーツ施設の数、バリアフリー施設の数、 公園の利用率、スポーツ施設の利用率、地域活動参加者数、図書館・美術館入館者数 地域でのイベント数、 県民1人ひとりの満足度、地域愛着度

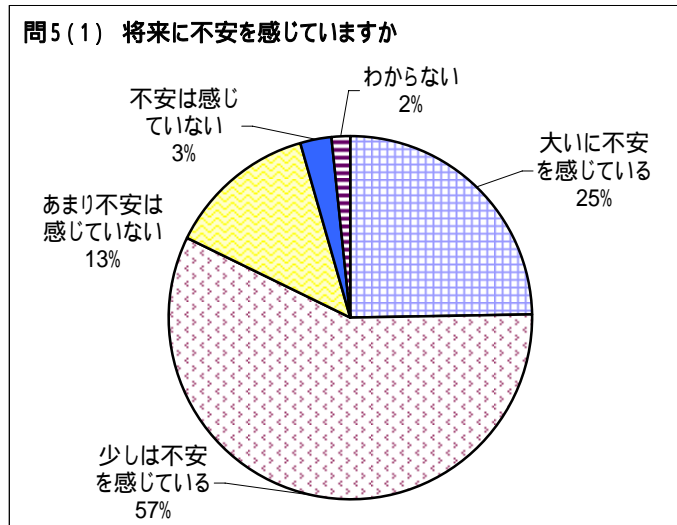
(6)あなたは、「つながる」視点から描いた将来の姿の実現度を見るために、どのような指標が必要だと思われるか。

指標(主なもの)
事業所単位でのクラブなどへの参加率、ボランティア休暇の利用率 自治会加入率、地域活動参加率、 ボランティア活動保険加入者数、地域活動参加者数、NPO活動参加者数 NPO、福祉等自治会と協働で実施できるような活動の件数、 NPO、NGO、ボランティア組織の数 海外からの留学生受け入れ件数 ひとり暮らし老人訪問回数

問5 あなたが感じている不安についておたずねします。

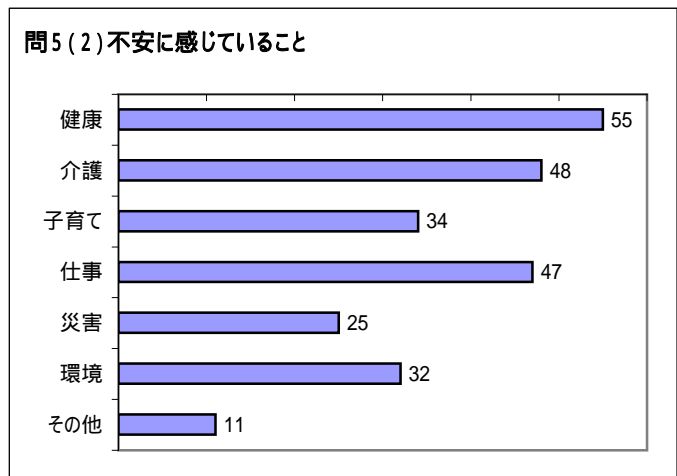
(1) あなたは、将来に不安を感じていますか。

大いに不安を感じている	28人
少しは不安を感じている	65人
あまり不安は感じていない	15人
不安は感じていない	3人
わからない	2人
計	113人



(2) あなたが特に不安を感じていることはどのようなことですか。(複数回答可)

健康	55
介護	48
子育て	34
仕事	47
災害	25
環境	32
その他	11



「その他」の具体的な内容(主なもの)
 経済面(年金収入や貯蓄等)
 社会環境
 子どもの非行
 老後の生活全般
 この国のあり方
 財政状況

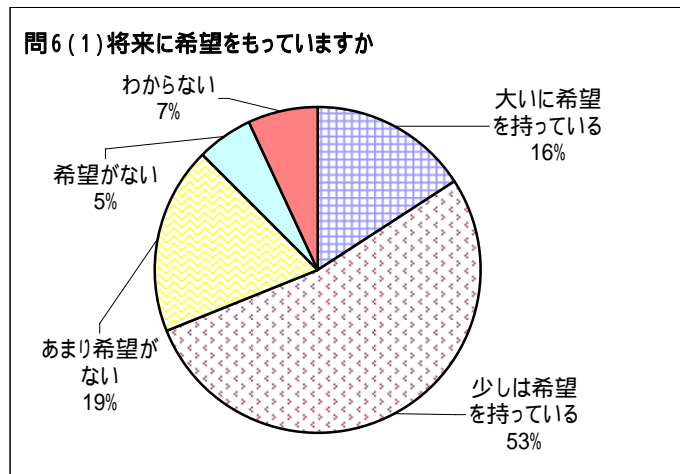
(3) (2)で選択された項目について、具体的にどのような不安を感じておられますか。

項目	具体的な内容(主なもの抜粋)
健康	医師の不足や病院の閉鎖など、将来の医療制度できちんと医療を受けられるのか、健康に暮らせるかどうか、新たな疾病の発生、医療費の増大、
介護	親が老いたときにどれだけ自分が面倒を見られるか、介護保険は将来どうなっているのか、介護の孤立化、自分の老後は誰が介護してくれるのか、障害を持つ子の将来
子育て	教育費がかさむこと、核家族化で共働きも増えるため、乳幼児保育や学童保育等の対応が不安、子育ての孤立化、
仕事	今後の日本で子どもたちが就職できるのか、定年まで働けるのか、不況で仕事が少なく収入が減っている、子育てとの両立ができない、
災害	地震、災害時に迅速に復旧できるのか、
環境	地球温暖化、資源が少なくなってきたこと、自然破壊、琵琶湖の環境、
その他	生活できるだけの年金があるか、病気になったときの収入がどうなるか、全てが不安、滋賀県の社会経済全体が活気がない、

問6 あなたが抱く将来への希望についておたずねします。

(1)あなたは、将来に希望を持っていますか。

大いに希望を持っている	18
少しは希望を持っている	60
あまり希望がない	21
希望がない	6
わからない	8
計	113



(2)あなたが抱く将来への希望はどのようなものですか。ご自由にお書きください。

- 子どもが親を尊敬し成長していくこと
- 経済的、肉体的にも不安のない一生を過ごせること
- 自然が豊かに感じられる環境があり、そこでゆったりと休日を過ごせること
- 税金は高くても老後の安定、社会福祉の充実した国になること
- 家族みんなが健康で幸せに暮らせること
- 生活できるだけの年金が支給されること
- 自分のやりたい仕事をして収入を得、充実した生活を送れること
- 子どもが安定した仕事に就き、独立すること
- 余暇を利用して、なりたい自分のための勉強を継続できること
- 老後も今と変わりなく生活できること
- 争いのない社会
- 子どもが幸せになってくれること
- 収入に関係なく、子どもが学べる環境になること
- 自給自足の生活を送ること
- 子どもたちが大人になったとき、今と変わらない自然豊かなまちであること
- 身近に病院があり、病院や医師の選択ができること
- 災害時等異常事態発生時に近所の方々と助け合いができること
- 地域やNPOへの参加でいきいき活動ができること
- 文化財の保護が進み、次代に良好な状態で引き継げること
- 子どもが安心してのびのび遊べる環境
- 高齢者になっても孤独でないこと
- 生きる喜びを日々感じられること
- 子どもに負担をかけずに暮らせること